続・イジメてみやがれ!!! (中三時代)



苑田公乃

親と教師は選べない

だけど、友達がいれば生きて行ける

久我諭(くがさとし)

今も地元の有名人です。久我は男三兄弟で、彼が一番上。二番目が苑田弟と同級生で親しくなったけど、ハートは弟クンの方がキレイだと彼のオヤジさんが言ってたとか。身長も、兄はその後伸びなかったと弟クンは言ってました。顔はそっくりなので、弟クンがうちに遊びに来るのはトキメイタ(笑)。

萱橋智(かやはしさとし)

サト君。幼馴染と呼べるでしょう。現在、警察官なんだけど、生活が不規則なのでいつ電話していいか分からない。たまに、とんでもない時にかけてしまう、、、。が、オンとオフをキッチリ分けたい人には向かない職業だと苑田は考える。まだ、サト君とも決着は(?)ついてないな-

正 (タダシ)

ダブルサトシと同じ野球部に入部。お雛様みたいに可愛い顔してた。今は髭が似合ってる。すっごく優しいので甘えさせて貰っている。うちの親にまで、庭でとれたビワを届けてくれる程、優しい。健康体。頭はいいし、多才だし、苑田的にはケチのつけようがない。が、偏見をもつ人間からはどうかな、、、。特殊な家庭環境だったので、、、。かっこよく書いてあげるとクチ約束して、この小説の許可を貰った。うひひ。

平居沙美(サミイ)

ついに会社を辞めた、、、。若い時は、自殺する人の気持ちが分からなかったらしく、人間、 死ぬ気になれば何だって出来る!と言っていたが、多分、反省したろう。う~ん、、、そんな発 言した事なんて忘れているかもしれないが。やっと声に力が入るようになったので、きっと元の サミイに戻るだろう。苑田は女友達が少ないんだから、しっかりしてくれなきゃ困るゾ!

福原保雄(ふくばらやすお)

担任の中じゃ、この男が最悪だったと思う。爬虫類みたいな目つきで、じわり、じわりと追い詰められると、ヒステリーを起こすババなんかとは別の不快さがあった。レールに乗っていたので校長になった。校長ってのは、どんだけ小さい人間がなれるんだ!って感じです、、、。文雄もなったけどね(笑)。

ツンちゃん

サミイの弓道部の1年生男子。サミイとイイ感じだったけど、、、。

横張

ツンちゃんの連れで、同じく弓道部1年男子。この子もいい子だった。小粒な体型。色黒。

新聞屋

1年女子。うちが新聞屋だったので、そう呼んでおいた。性格悪し。顔も悪し。あ、女子に向かって、コレは無いかな。

篠塚

バレー部 2 年男子。突如馴れ馴れしく現れて史上最悪な事件の引き金となったが、悪気が無いので手に負えない。後に母が整形外科に行ったら、コヤツが先生となっており、苑田先輩は元気ですかと尋ねたらしい。ドイツか分かって、母に医院を変えさせた、、、。

4. 5人組の2年生女子

人間に、0.5人はないだろお!とよく言われるけれど、あります(笑)。彼女達でいる時は 5人でつるんでて、一回は姿は見せずに苑田の前でも5人だったけれど、その後は常に4人で現 れたからです。この5番目の女は、半人前とも呼べます(笑)。

おばちゃん

ワコが、何故かそう呼んでた転校生。昔風なメガネをしてて、小柄で黒々した短髪。県でイチニを争う高校を志望していた。普通の子に見えたんだが、次の試験じゃ彼女が糸井クンを抜いてトップになると先生達が囁いていた。つーか、省吾先生情報ね(笑)。鷹中の名誉を守るのは誰か!?いや、そういう発想してたヤツが苑田以外にいたとは思われないか、、、。

里口後輩(笑)

母方の従妹。1学年下。苑田の親戚で、よくイジメにあわずに済んだなあ~。自分の弟が中学に入った時も、とっても心配だったけど、苑田先輩の弟サンなの?とモテモテだったらしい(笑)。里口後輩は、現在自分の髪の毛に座れる位のロングへアーで、染めてなくて艶々。

野原クン*この苗字の人は、まだ一人しか会ってない

母一人、子一人。公家みたいな顔。足が速かったが、腕をもっと直角にするとアンカーが出来たかも、、、。小6の時に親しかった。よく一緒に笑ってたけど、はかなげな男だった。募金の時、皆は10円とかしかくれなかったけど、ヤツは100円くれてた(泣)。正んちでバイトしてたし、、、。バイトの内容は、今は言えない。彼の母親は、すっげえ美人だった。水商売系じゃなかったよ。水商売は、アリだと思うけどね。苑田もコンパニオンやった事あるし、、、

ヌグミ (笑)

恵(めぐみ)って名前の男の子だったけど、マコ達が、ヌグミと呼んでいた、、、。パンダみ

たいに可愛い男の子。お父さんが英語塾をやってたので、ヌグミも英語が出来た。苑田は家が結構近かったので、たまにヌグミんちに遊びに行った。アルファベットなんか教えて貰ったよ。

野上先生(だっけか、、、)

5年時担任。ステレオタイプで好きな先生ではなかったけど、子供がいなかったので、母の日にカノとカーネーションを買ってあげたら泣いてしまった。嬉し泣きかと今日まで思っていたが、まあ、あの時もバツが悪かったし、ひょっとして、自分って子供目にも哀れなの?って泣いたのかもと思う、、、。真偽は永遠に分からない。この先生も病気で亡くなってしまったので。タカコに聞いて、びっくりして線香をあげに行ったけど、苑田の周り、亡くなる人多い気がする、、、。

マサル

5年生の時に転校して来た。そう言えば、転校生も今より多い時代だったかも。単身赴任なんてなかった気がする。スーパーで、単身赴任???みたいな男の人を見ると気の毒になる。男が買い物する事自体はいいんだけどさ。カゴの中身が慣れてない感じでさ~。苑田は人のカゴの中を見て、今度はアレを買ってみようとかヒントにしてる。案外、おんなじ物ばっかり買ってるものだよ。乾物を一杯買ってる主婦らしき方を一番尊敬している。太った人は、必ずカロリーが高そうな物でカゴが一杯、、、。マサルだが、コイツに泥棒呼ばわりされたよ!(怒)冤罪事件だ!

ミノル

苑田弟親友。最初は、弟の春の遠足の写真(当時5年生)を物色してて(笑)「この子に会いたい!」と言ったら、本当に弟がうちに連れて来てくれた。運動会に行ったら、クラス対抗リレーでゴボウ抜きを見せてくれた。自分が高校生になったら、苑田の親衛隊を作ってくれて、アイススケートやら卓球やら、お約束のチャリ二人乗りやら遊んでくれた。今も弟だけじゃなく、実家にも年賀状をくれるいいヤツ。苑田友人らも、母に暑中見舞いとか出しているらしい。因みに母の日には、自分の娘以外の人達から花が届く。

班長

徳島小の男の子。小学生にグラッと来たなんて、苑田、メンタル相当ヤバかった、、、。だって、その子、面差しが「アイツ」に似ていたんだよ~(泣)。泣く位なら、ちゃんと好きだと言えば良かった。言うのを忘れたと「イジメてみやがれ!!!」の読者は気付いていたろうなあ。本当に、言うのを忘れてただけなんです、、、。が、アイツも忘れてたじゃないか!(怒)と、形だけ怒ってみるみっとも恥ずかしい苑田である。

Ξ

苗字の一番上と、名前の一番上を取って、ミミ。美容院の子で、いつも苑田は歌をおねだりし

てました。後ろから突っついてリクエストする。いっぺんもヤな顔されなかった。卒業式で、ミミと苑田だけ、、、。何をしたかしなかったか、エンディングをお待ち下さい。

トキちゃん

夏の学校で知り合った。が、変なキッカケだったので、結局は友情は自然消滅。結構もった方だけどね。笹クンを好きなら好きと言えばいいのに、最終的にクチを割らなかったね~。面倒臭い女の典型です、、、。

笹クン

確かに美男子ではあった。夏の学校にはアチコチの中学校から一杯生徒が集まる中で、まあ、一番だったろう。どうして歯切れが悪いかというと、少し消極的な人だったんだよね。つーか、受身なタイプ。どんだけハンサムでも、制服でカウボーイハットって、、、(笑)。それが似合う程のハンサムだったんだけどさ(笑)。

瞬太郎(シュンタロー)*当て字です

本名は違うけど、写真屋がそう呼んでたので。彼女はこの男のファンだった。背は高いけど、目立ちたがり屋でキライだった。オヤジの同僚の息子だったし。高校も3人一緒になったけど、彼には挨拶もろくにせずに終えた。なんの義理もないからな。あ、この二人と出会ったのは、冬の学校(笑)。

写真屋

性格は、すっごくいい子。バッタリ再会した時、教習所に通っていて、教官と結婚する事になったと嬉しそうだった。嫁に行けるとは目出度いと思ったので、教習所勤務者に話したら、独身の男はいないぞ!騙されている!と言われてビックリ。が、時間差攻撃みたいなもので(笑)、ハッピーエンド。

梅村クン

そんな男いたっけか?って感じで浮上した。唐突にバスケ部に入部してポイントゲッター。ワコは、コイツも放ってはおかなかった(笑)。悪いヤツではなかったと思うけど、苑田にクダラナイお願い事をした。クダラナイなら引き受けるな過去の自分!

*ランダムに紹介していますが、ここで次のページに移ります。

イジメてみやがれ!!!程は人物が多くないので安心して下さいね(笑)。

チャオパパ

苑田家裏の住人。サト君の叔父。結婚してやって来た。チャオパパも足が速い。後に二人の子供のパパになるが、それがチャオとチャオ弟。弟は、サーキットで活躍。ミテクレ(見た目)は、ジャニーズそっちのけ。修羅場を潜った顔付きでもある。彼女がいないのが不思議だけれど、いい男に限って意外に彼女がいないと苑田はジャッジしている(笑)。

ケイちゃん

サミイの弓道部の1級後輩。耳が張っているけど、そりゃあもうハンサム。浅黒い肌がむしろソソる(笑)。但し、シモネタ好きなので二枚目半。苑田は、寒い日には意味なくケイちゃんの学ランを借りて着ていた。裏地がクールなストライプだった。ケイちゃんは寒かったろうね(笑)。苑田はケイちゃんの体温で温かかった。そのセクシャルな関係は、高校生になってもエスカレートしつつ続いた。初めて書いた小説に出て来る男の名は、同然「ケイ」にした。喜んでくれた(喜)。

白鳥(しらとり)

1年下の男の子。苑田が4年生の時に近所に越して来た。つっぱりなヤツで苑田は好きだった。友達がいない苑田が、渋々プールの日に公会堂の前に立っていたら(その日も母は弁当を持たせてくれなかった、、、)流し目をくれていた(笑)。仲間に見つかって、気があるだの何だの冷やかされてた。族になるかなあと思ってたけど、修理工になった。ケイちゃんと対決できる程のイケメン(笑)。

クロキン

ミナが命名。6年生の時に越して来た男の子。目がパッチリしてて、性格最高良かった!妹は 苑田弟と同級生で、こっちも可愛い~子だった。それはいいんだけど、それまで同級生に男の子 がいない学区だったので、リレーは白鳥が走ってくれてた。足、相当速かったんで。下の学年か ら出すって決まりだった。が、クロキンが現れてしまった、、、。クロキンが走るっきゃないじ ゃん!どうなる、苑田学区長!

まあちゃん

1年下の男の子。性格はすこぶるいい。先生からも父兄からも仲間からも慕われていたけど、 どっか足りない、、、。顔???(笑)丸顔だったねえ。

ノンコちゃん

苑田が6年生の時に入学した近所の女の子。基本、友達がいない苑田はノンコちゃんにも遊んで貰っていたが、オヤジが小さい子供と遊ぶな!と禁止した、、、。危ない遊びを強要するわ

けじゃないので、6年生でママゴトをしてて欲しくなかったんだと思う。が、未だに苑田は少女 漫画だって読んでいる。早くに母から塗り絵も取り上げられて、可哀想な幼年時代の苑田であ った。

ミド

彼女の母親も、苑田母と同級生だった、つまり、文雄と。が、ミドは、うちらみたいに先生を呼び捨てにしていなかった。苑田やミナと学区も一緒だった。格式ある家の娘だが、田舎なので格式ってどんなよ?と問われたら、茶畑もってたんだってさと答えるのがやっとだ、、、。ミドともちょっとあって、ミナが助けてくれようとしたっけ。このエピソードもどこかに盛り込みたいものです。

*ストーリーが現在のところ、一日の話で一話、で、翌日の話があって、更に翌日という事になっており、登場人物が幸か不幸か増えませんね。代わりに、お勧めのマンガを(笑)。少年ジャンプのNARUTOです。このマンガの登場人物の多さに比べたら、イジメてみやがれ!!! なんてどうって事ないですよ(笑)。DVDをレンタルするなら、一杯あるけど2004年と2005年を見るのが早いです。NARUTOは、絵がキレイだし、効果音もいいですよ。今は好きなキャラは、クールな「ネジ」ですが、基本的に強いヤツが好きなので、「砂」の三人が気に入っています。因みに、苑田も自分のチャクラを若干移動させる事ができるので、先日も屋外イベントで凍えている女の子にあったまり方をやって見せました(笑)。ジョジョの奇妙な冒険もお勧めです。この作家は絵が年々変わって来たので、パッと見て好きだと思う絵のを読んで下さい。私はイタリア編が好きです。大人の鑑賞に堪えうる作品ですが、嫌だよ~って方は、ベルセルクをどうぞ。映画化もされます。サブキャラのジュドーが出るので嬉しいです(笑)。DVDで良ければ(昼休みに見られないんですよね~)、必殺シリーズです。特に昔の必殺仕置人と続だか新だかの仕置人がいいです。仕事人と仕置人で字が違うので、すぐに見つかりますよ。パチンコになったみたいでこれまた嬉しいです(笑)。苑田、男では???疑惑がおきませんように(笑)。

タケダ

見るからに不良なので1年の時から一応マークしてたんだけど、全てにかったるいみたいで悪さを仕掛けて来ないから要注意人物ではないと思ってた。3年で同じクラスになったけど、やっぱりむしろ渋い、、、。眉と唇に傷跡があって、恐い顔なんだけど。床屋が嫌いなのか、つっぱりだからか、しょっちゅう先生から髪の毛が長いと注意されていた。露骨にしかめっ面するけど、目は合わせない。高等技術である。

アキタさん夫妻

苑田を養女にとせがんだ。ダンナさんが、うちのオヤジの昔からの友人。怪しい職業で(?) 金持ち。部屋数が分からないデカい家である。因みに平屋である。が、天井が高い。奥さんも、よく分からない師匠。楽器自体は三味線だけど、小唄と呼ぶのかどうかとかが分からない。養女になっていたら、どっちかはやらされていたと思う。つーか、どっちもやるハメになった気が、、、。先日ちょっと電話で話しただけで感激された、、、。いい子に育ったって(笑)。とっくに子供じゃないと思うが、アキタキミノ、、、いい名だったかも。

チカ、とかいう女

こういう女は抹消されるべきだと思う。「史上最悪(?)の事件」ってページをご参照下さい。

額賀クン

1年男子。野球部。スポーツ万能、成績優秀、見目麗しい。が、面白みが無い男なので苑田は全く関心なかった。話したわけじゃないけど、顔見ただけで退屈な男だと分かるからね~。あれ?もう、彼の紹介はした???しかも、イジメてみやがれ!!!の武藤先輩の時みたい事してないだろな、、、。いずれにせよ、勿論、彼も実在する。で、ダブルサトシの次の人気を争う一人だったとは思う。正義感が強そうだし。けど、正義感と男気は異なるので、苑田的には彼はオスに入らない。あなたもメスに入れませんとは、彼は品行方正で言えないだろうなあ。

カイ

これ、下の名前です。響きはカッコイイ系だよね~。まあ、確かに1年男子の中じゃ、ワルっぽいトコがポイントとなって、額賀クンと人気を二分してたかもしれない。陸上部だったと思う。が、所詮、二番以降はどうでもいいや。年上の女をも魅了してたトコが額賀クンと違うかな。あ、額賀クンも弟って感じでならうちらの学年にも受けが良かったけどね。

寿々野(スズノ)

なんて事ない1年女子で、カイの彼女になったらしい子。苑田はどうでもよくても、どうでも

よくない子がいた、、、。「史上最悪(?)の事件のお返し」ってページで話が見えま~す。

ゲンベ

ずっと名前を思い出せなくて今日になった、、、。おっさんみたいな顔だけど、すっごくいいヤツ。サト君の友人で、同じく野球部。久我も彼とは親しかった。イメージ的にはキャッチャー。考えてみたら、全てをゲンベに打ち明けて相談すりゃ良かったかも、、、。が、先輩はどうしたいの?と聞かれたら、答えに困ったと思う。因みに私は母から2,3年前に、二度と久我家と関わるなと釘を刺されたし、、、。田舎って色々とあるんです。

フーコ

イジワルってわけじゃないけど、なんかなあ〜な女です。運動会の予行練習だかで一緒に走る事になった時、気が重いだけの私は、速い?って彼女に聞いた。ううん、遅いよって答えたのに、スタートダッシュで私より速い程の脚の持ち主だった、、、。こういう人間っているよね〜。好きじゃないなあ〜。美容師になったけど、その前に自分のヘアースタイルをどうにかしなって感じ(笑)。

アイケン

苗字と名前の最初を取って「アイケン」だと思う。愛犬じゃなかろう(笑)が、ポメラニアンみたいな顔(笑)。アライ君の親友。1年の時から同じクラスで、ガンの飛ばし合いはしていたけれど、登場の機会なし、、、。常に出席番号一番なので、自分は「一番な男」だとでも言いたげにカッコつけていたけれど、身長低し、、、。ポメっぽい、、、。しか~し!再会したアイケンは、すらっとしたイケメンと化しており、ひと夏のバイトに私を誘い、足が無いと答えたら、毎日迎えに来てくれたのであった。いい男の助手席は気分いい。女の髪の毛あった!と言ったら、よく見ろ、お前のだ!と返しも早かった(笑)。が、アイケンの女性との初めての晩の話を聞いたら、女子は皆ヤツを嫌いになるであろう(笑)。性格がいいんだか悪いんだか分からないヤツだった。

アサノさん

イジメにあっていました。不潔だったからみたいです。が、よそのクラスだったのに、HRでうちのクラスでもイジメはあったので皆に反省を促し、事件になったのは5年生の時だったと思う。野原クンもいたと記憶しているし、野原クンは大好きだったから間違いないでしょう。アサノさんの担任は、私の正義感を怨んだであろう。怨めば?(笑)

ハトリさん

うちのクラスで、イジメにあっていた子。イジメと呼ぶのかなあ。遠巻きに嫌がらせを言う程度だった。なんでイジメられたかなあ。長い髪をおさげにしてたから???笑わないから??? お父さんがいなかったから???高校デビューして、妊娠退学出産シングルマザー。彼氏に、実 は鷹中の裏番は自分だったと言ったらしい(爆)。

サチエ

タカコと同類なタイプ。あれは、自分が偉いと思っているだけで正義感や責任感とは違うと思うんだよね~。オヤジが、遺伝的に美人になると言っていたが、本当に高校生になったら美人になった。が、今、どの時代の同窓会を開いてミスコンやっても、私が優勝するだろう。年々キレイになるのは並々ならない努力の賜物でもあるが、皆はミセスだからだ(爆)。特に、田舎って結婚が早いんだよね~。理由は、ここで書くのは危険だから書けない、、、(笑)。

ヨリちゃん

ミミくらい大好きだった女の子。だって、めっちゃ優しい!色は黒いけど美人だったし、優し さがエンドレス。絶対に幸せになってるハズだ。

カツミちゃん

いつも5年生っていう噂だった男の子。体は幼稚園児位で、顔はおじさん。なんらかの障害があったとは誰でも知っていた。でも、明るくて彼を嫌う子はいなかったと思う。マサルは根に持っていたかもしれないけど、消しゴム一個じゃん!が、大学で、落ち込んでる女の子にワケを聞いたら、消しゴムを失くしたと答えた。理解できないでいたら、生まれてこの方、何も失くした事が無いからショックだとの事だった。ホントに失くしてなかったか疑問だ。大事なモノを失くしても気付いてなかった可能性が高い。

航太

ワコの男。シズの兄と同じ暴走族に所属していて知り合ったらしい。関東で、その名は聞こえていたと思うが、シズの兄貴のいる支部の位置付けとかは知らない。知りたくない。私は誰かの女である必要は感じなかった。おにいもすっげいい車買ったけど、シャコタンにしたので、とんでもない田舎のデコボコ道を走って貰った時、ベコッて音がしてビビった(笑)。そこ、うちの近所だったから、そこ通らないと帰れないの(笑)。リン先輩は、なんだ、ここ!クランクじゃねえか!と必死にハンドルさばいてた。結構いろんな車に乗せて貰ったけど、どれも改造車でなかったら、スピード違反や信号無視は暗黙の了解だった、、、。ポルシェのエンジンの良さは分からなかった。飲み過ぎた時、赤信号で止まると振動がヒドいので、止まらないでくれと頼んだ(笑)。

珠美(たまみ)*男

航太のダチの一人。そもそも、彼らを呼び捨てはマズかった気がする。彼ら、基本、敬語だった。車を女以上に大事にしていた。無駄な装飾はなかった。私は、誰の事も好きになったと言った事はないけれど、ワコは勘がいいから、無口な男がタイプだと気付いていて、無口な人を選んでくれていた。無口なのに馴れ馴れしく手を出して来るって事もないから(たまたまか???

) 気楽だった。なので、彼らには女は消耗品だったと思うけど、別に気にならなかった。うちは、当然夜は出歩けなかったので、私こそどういうポジションだったのか、全く不明。が、男は男で勘がいいから、私が密かに想っているヤツがいると皆気付いていたろうと思う。誰をかまで分かっていたら、誰も助手席に乗せてくれなかったとも思う(笑)。

エイコちゃん

モグの遠縁か何かだったと思う。3つ下だった気がするけど、非常に曖昧。おねえちゃんが作ったバレ一部(?)に1年生で参加したと思う。私は4年生だったような、、、。お母さんが美人だったので、エイコちゃんもエキゾチックな顔立ちをしていた。おつかいに行って!と頼まれて、チョコレートならいいよと答え、家を追い出された。モグは、エイコちゃんの肩をもった。私は、聞き流した(笑)。

金子(キンコ)サン&銀子サン

レディース。私達は、サン付けで呼んでいたが、近寄らないようにしていたので、名前を呼ぶ用もなかった。うちらみたいなガキは相手にしていないので、頭を下げると、いつもむしろ微笑んでくれた。非常に無口なコンビ。確か、キンコさんは本名。欣子とかいう。う~ん、そう書いて、ヨシコって読むんだったかなあ。で、銀子サンは、金銀にひっかけてそう呼ばれるようになったんだと思った。物語中には登場しないと思う。だって、この歳になっても怖いじゃん(笑)。

おいかばちゃん

及川サンちのおばちゃん。一人暮らし。考えてみた事なかったけど、50歳位で後家さんだったかも。物静かな人だった。敷地は広く、もう一軒、家があったので人に貸していた。それが収入だったのだろうか???

石神サンのおばちゃん

ここのうちからは笑い声が聞こえたためしがない、、、。息子の勝也は、私と同級生だったか、少なくとも、おねえちゃんと同級生だったが、友達がいない子だった、、、。彼の笑った顔も見た事がない。久我は笑わないトコが良かったんだけど、それって、イケメン限定な気がする、、、。勝也は、萎びれた顔をしていた。

ツキヒト、ホシヒト兄弟

書道教室で出会った。兄は色黒の長い顔で、騒々しい。弟は額が広くて色白。言われなきゃ兄弟とは分からない程、ホシヒトは無口だった。学校で会っても知らん顔をするので、私も知らん顔をしていたし、書道教室でもしゃべらなかった。

ツバサちゃん

翼って書いた。女の子。カッコイイ名前だねって皆から事あるごとに言われていた。名前っぽい感じかというと、そんな事はなくて、ごく普通の子だった。

書道教室の先生

永遠の憧れ。お正月明けには、狭い台所の戸も開いて、網でお餅を焼いてくれた。お年玉よって言って半紙もくれた。月謝は、破格に安かった。よそに通うようになって気付いた。日本女性の鏡だと思う。